

33 アートの会 4 月度 座学 報告

日時；4月16日 水曜日 13:15 から 16:45

場所；218 講義室 3962

参加者；岡田、天王寺谷、庄司、清水、小林猛、住本、永井、山崎、稲垣、榎本、吉田、山本、高濱、光長、小林章三、伊藤、塩路夫妻、高塚、安居院（記） 計 20 名

映画「メットガラ」 モネ展事前学習 ノートルダム大聖堂復活

今回は、趣向を変えて衣装からアートを考え、さらに5月度の鑑賞会を予定しているモネ展の事前学習をします。そして、ノートルダム大聖堂の驚きの今を見てみます。

1. 映画「メットガラ」～ドレスをまとった美術館～

13:15-14:45

ファッション界最大級のイベント「メットガラ」を追ったドキュメンタリー。

米ヴォーグ誌の編集長アナ・ウィンター主催により、ニューヨークのメトロポリタン美術館（MET）で毎年開催される「メットガラ」。

1946年にスタートし、一流メゾンによるオートクチュールの数々、豪華セレブリティたちが集うガラパーティは、ファッション界のアカデミー賞と称されている。

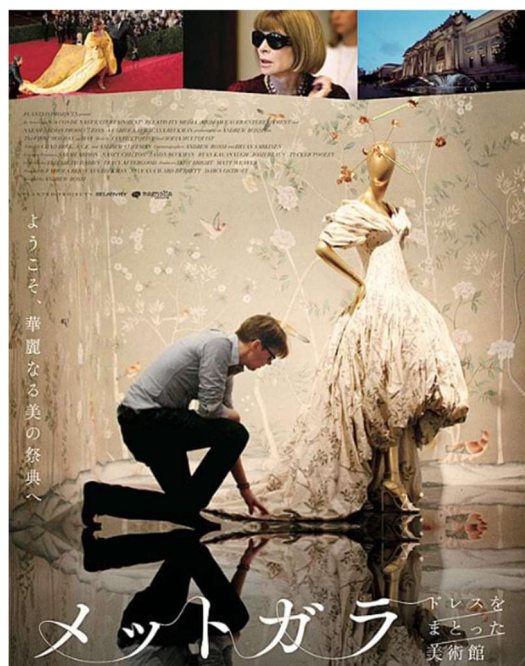
2015年のメットガラ開催に向けて8カ月にわたる準備、そしてガラ当日の模様を、アナ・ウィンター、企画展示を担当したキュレーターのアンドリュー・ボルトンの2人を中心に追っていく。

ファッション・イベントの仕掛け人となるのがVOGUE誌の編集長アナ・ウィンター。彼女とキュレーターやその他のスタッフが連携しながらレセプションの準備と、肝入り企画「鏡の中の中国」展の構想から入念なセッティングに向かうまでの日々を描く。

ファッションを芸術の枠組みの中で見せること。政治や文化に配慮もしつつ交渉を重ねる努力と苦悩。それらを全てクリアしながら進む責任者の人柄、彼らが日頃身につける服装などにも魅了されてやまない。

また展示に協力するウォン・カーウアイやバズ・ラーマンなどの映画人や有名ファッション界の巨人らの発言も非常に興味深い。日頃ファッションに関心のない人でも知的、美的好奇心を十分満足させられるはずだ。

ジョージ・クルーニーがアマル夫人を伴いカメラのシャッターを浴びている頃、ジャスティン・ビーバーが取り巻きを引き連



れて館内を散歩している。正面玄関には当夜の主演であるリアーナが中国人デザイナー、グオ・ペイの黄色いロングガウンを引き摺って現れる。メトロポリタン美術館が運営に必要な不可欠な寄付金を募るために企画した"鏡の中の中国"展のオープニングナイト、メットガラは、こうして、呼びたい美術館サイドと、呼ばれたいセレブサイドの利害が合致し、寄付金の目標額を見事クリア。

影の仕掛け人、アナ・ウィンターの目論見はまんまと成功する。

感想；

凄いドキュメンタリー番組だった。辣腕の編集長アナ・ウィンターの活躍ぶりや決断の速さにびっくり。もっとびっくりしたのが、娘もモデルとして出演していたこと。着こなしがよかった。セレブの一面を見せつけられた思いがした。

かたや、キュレーターの**アンドリュー・ボルトン**はまじめな人柄がにじみ出るような描き方であった。

地下に押し込められていた衣装部門に光を当てるために奔走する姿には感動。

さりげなく展示された衣装を治す光景や、会場を見回る姿に、充実感があふれ仕事に生きがいを感じていることが、良く伝わってきた。

往年の中国関係の映画がたくさん見られ、情報の整理ができた。

ゲスト人もすごい顔ぶれ。

磁器でこしらえた衣装など、着るものではない。飾りだけなのだろう。そんなものに意味があるのか。

とにかく奇抜なものが目立って、私も着てみたいというファッションショーではなかったようだ。

これ見よがしな、金持ちの遊びを垣間見たという感じで、日本人から言わせれば、上品ではない催しだ。話題性のみで彩られたお祭りなのであろう。宣伝効果を狙ったものだ。

ジョージ・クルーニーやジャスティン・ビーバー以外は、私にはなじみがなかったが、今回リアーナの存在にびっくり。彼女はバルバドス出身の女性シンガーソングライター、女優、実業家である。身長 173cm。

さすがに、階段で披露したこの黄色いガウンを脱いでの歌唱であった。

衣装を踏んづけないように、外股で歩いていた人も映っていたりして、相当に無理があるようで実用ではない。

アメリカでは、毎年こんなことで大騒ぎをしているのだとわかった。



参考；ちなみに今年も予定されている。

メットガラ (MET GALA) 2025 のテーマは？

特別展覧会のテーマは「Superfine: Tailoring Black Style (華麗なるブラック・スタイル)」。ブラック・ダンディズムを題材に、大西洋地域のアフリカ系ディアスポラのアイデンティティ形成における衣服とスタイルの重要性を考察する。

コスチューム・インスティテュートとしては、2003 年の「Bravehearts: Men in Skirts」以来となるメンズウェアに特化した展覧会であり、**アンドリュー・ボルトン**がキュレーター・インチャージに就任して以来、初めてゲスト・キュレーターを招いた展覧会でもある。

メットガラ (MET GALA) では何が行われる？

イベントの内容はあくまで極秘で、限られた招待客のみしか知ることができない。そのため、ゲストはスマホの使用を禁止（つまり SNS 禁止）されている。しかし実際には、トイレやエレベーター内でセレブ

やモデルが自撮りするなど、ルールが破られているのは有名な話だ。

通常、ゲストはディナーの席につく前にまず展覧会をまわり、その後にトップアーティストによるライブパフォーマンスを鑑賞する。

メットガラ (MET GALA) の参加人数は？

スターや若手クリエイター、業界の重鎮など約 600 人がこのイベントに参加している。2021 年はコロナ対策として例年より少ないゲストを招いて開かれた。

メットガラ (MET GALA) の招待客リストは？

イベント前夜までゲストリストは明かされないのが基本ルール。しかし、リアーナやレディー・ガガ、サラ・ジェシカ・パーカーなど常連セレブたちの参加が 2025 年も予想される。2024 年はゼンデイヤにキム・カードashian、カーディ・B、ジェニファー・ロペス、デュア・リパ、ラナ・デル・レイ、そして BLACKPINK のジェニーが登場した。またマーク・ジェイコブスとケイト・モス、ニコラ・ジェスキエルとエマ・ストーンのように、デザイナーがミュージアムと一緒に参加することも多い。

2. 休憩

14:45-15:00

次回、5月21日水曜日 「モネ展」鑑賞会 @京セラ美術館

10:00 現地集合

11:30 鑑賞後集合

11:45 から 12:45 昼食 旬菜食健 ひな野 京都市動物園店(創作料理)のランチ

<https://www.hotpepper.jp/strJ003474192/lunch/>

ランチビュッフェコース；厳選した季節の野菜をふんだんに使用し、無添加調理にこだわったお料理とお飲み物を約 50 種類ご用意しております。 大人 2,080 円 (2,288 円)

3. モネ展 事前学習

15:00-15:40

3.1 解説！特別展「モネー睡蓮のとき」

(25 年京セラ美術館)

15:00-15:14

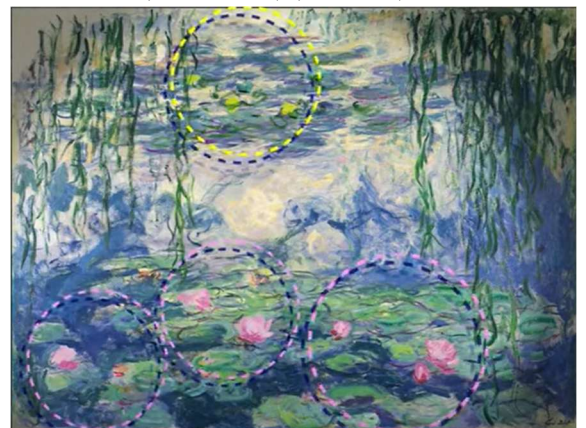
印象派の #画家・モネが関心を寄せた、水面の反映の効果を主題とする風景の絵、とりわけ、モネの晩年の最大の傑作と目される、オランジュリー美術館が所蔵する「大装飾画」にもつながっていく、池に浮かぶ睡蓮や水辺の植物を描いた、重要な作品の数々を鑑賞することができる貴重な特別展について解説する動画。

3.2 日本で人気の理由と今回のモネ展の見所について五郎さんが語る

15:15-15:40

モネの人気は、キリスト教と関係しない風景画が多い。モネ自身が日本が好き。色が綺麗。こってりしていない。感情移入がしやすい。ことなど。

今回の見どころは、晩年のモネの作品がいっぱい



クロード・モネ『日本の橋』1918-1924年頃 油彩/カンヴァス マルモッタン・モネ美術館、パリ © musée Marmottan Monet

来ていること。

白内障で色の見え方が違っていたこと。黄色がかって見える。おかしくなっている。それでも、絵を描き続けた。そこが面白いところ。

1945 年以降 MoMa が睡蓮を購入し始める。これはジャクソン・ポロックのように画面全体を塗りつぶす画法のはじめが睡蓮の連作であるとするもの。

しかし、五郎さんが言うには、モネは抽象画として描いたのではなく、あくまでも自分の目で見た具象を描いたのである。ここを読み違えないように。モネには絵のようにものが見えていたのだ。

ここがポイントである。

4. ノートルダム大聖堂の復活

4.1【建築散歩】火災から復活！パリ・ノートルダム大聖堂

15:40-16:20

2019 年の火災から 5 年。ついに復活をとげたパリ・ノートル大聖堂の内部の様子をガイド目線でお届けします。火災前の姿からは想像もできない、美しい姿に生まれ変わったノートル大聖堂をお楽しみください。

すすけていた壁が綺麗になった。

ステンドグラスは火災から免れた。

祭壇の周囲の彫刻の説明もあります。



エマオの巡礼

4.2 パリ・ノートルダム大聖堂

16:20-16:30

2024 年 12 月に再開した。

その時の様子が映し出された。

大司教が、歌うことによってオルガンが弾き始められる。

このオルガンの調律をしたのが関口さんという日本人であったやはり、鉛の粉や煤が入っていたので、洗浄し直した。

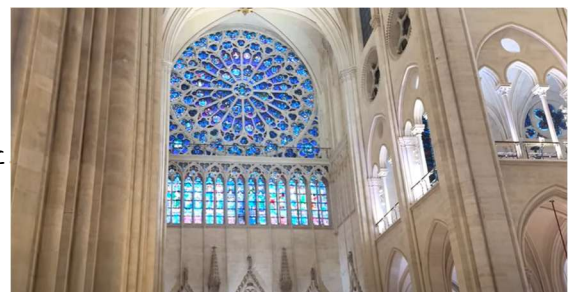
そして一本一本調律をしていくのだ。

リードのつまりや不具合で音に雑音が混じるという。

それを掃除したり、パイプの接合がしっかりはまっているかなどをチェックしていく。

関口さんは、パリ近郊の教会を巡って調律をして歩いているとのこと。定期的にノートルダム大聖堂にも点検に回る。

こんなところで、日本人が活躍していたなんて、誇らしい思いがした。



以上